

ねっか発売一周年とIWSC焼酎部門2年連続受賞を祝う 「2018ねっか祭り」開催！

7月28日、発売一周年を迎えた米焼酎ねっかの感謝祭「2018ねっか祭り」が夏の郷湯ら里で開催され、町内外から約140名が参加しました。

はじめに、合同会社ねっかの協坂齊弘代表が「今年24日に発表されたインターナショナル・ワイン&スピリッツ・コンペティション(IWSC)の焼酎部門で2年連続の銀賞を受賞することができた。『ばがねっか』も初出品し、銀賞を獲ることができた。来年は金メダルを目指したい。また、今日はねっか発売一周年を祝う祭り。ねっかの楽しい飲み方もあるのでぜひ味わってほしい」とあいさつしました。続いて菅家町長が祝辞

を述べ、星公正県会議員の音頭で乾杯しました。会場では、郡山市にあるバー・オクムラの「ねっかカクテル」や会津若松市のNPO法人素材広場がねっかをベースにした「福島フルーツハイ」が味わえ、参加者は銀賞を受賞したねっかの味と、カクテルやフルーツハイといった新しい飲み方を楽しんでいました。



▲2年連続銀賞の受賞報告とねっか発売一周年のあいさつをする合同会社ねっかの皆さん

身近な野草や木の実で野草茶とデザートを作る ノラサン「野草教室」を開催！



▲町の地域づくり交付金事業を活用して開催された野草教室

7月7日、野草で健康づくりを推進する団体ノラサンの野草教室が只見振興センターで開かれました。今回は、「体に合わせた野草茶と飲み方」と題し、漢方薬局薬剤師の貝津好孝先生を講師に迎えて開かれた野草教室と、「野草や木の実を使ったデザート作り」をテーマに、米粉のおやつ菓子工房shucre(シュクレ)の江黒由佳さんを講師に迎えた料理教室の2部構成で実施されました。野草教室では参加者20名が野草茶について学び、料理教室では桑の葉入りカップケーキやスカッチョジャム入りパンナコッタづくりを学びました。

只見高校生が海外に短期留学 役場で出発式を開催

7月24日、町と只見高校の連携事業「短期海外留学制度」を活用してシンガポールへ留学する只見高校2年生の加瀬龍光さん、小室幸子さん、原田泰知さん、目黒柚季さんの4名が役場を訪れ、菅家町長に出発の報告をしました。菅家町長は「この留学を将来の夢に結び付けられるよう頑張ってください」と励まし、生徒たちは英語で「文化の違いを学びたい」「英会話の技術を伸ばしたい」など抱負や将来の夢などを語りました。



▲菅家町長(中央)に報告した小室さん(左上)、目黒さん(右上)、原田さん(左下)、加瀬さん(右下)

地域住民の人権を守る

人権擁護委員に鈴木美穂さん(只見)

前任者である鈴木厚さん(只見)の任期満了に伴い、平成30年7月1日付けで、鈴木美穂さん(只見)が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は、人権相談会の開催や人権に関する啓発活動を行うなど、日々の問題解決に向けて取り組む民間のボランティアです。今後は只見町担当として、渡部等さん(小川)、目黒香都子さん(坂田)と一緒に活動されます。



▲7月1日より人権擁護委員になった鈴木美穂さん



▲上/日大東北戦で先取点をあげタッチする選手
下/マウンドに集まり笑顔を交わす選手

第100回全国高校野球選手権福島大会 只見高校が夏2勝を挙げる!

第100回を迎えた全国高校野球選手権福島大会が7月7日に開幕し、部員12名で挑んだ只見高校野球部が福島南高校と塙工業高校を下し、夏2勝という結果を残しました。

7月8日の初戦、福島南戦では7回まで両チーム無得点で試合が進み、8回に只見の集中打で一挙4点を奪い、結果4-1で勝利しました。続いての2回戦(10日)塙工戦では投打がかみ合い、見事8-0で7回コールド勝ちを取めました。先発の松本陵汰投手は、7回参考記録で無安打無得点という見事な投球を披露しました。3回戦(15日)の日大東北戦では、初回に先制し、以降もチャンスをつくるものの追加点が奪えず、結果1-11の5回コールド負けとなりました。

試合後、球場にいる只見町応援団から温かい拍手が贈られ、選手の素晴らしいプレーを称えていました。

只見町ブナセンター

講座「工芸－自然と人をつなぐものづくり」開催

7月1日、「工芸－自然と人をつなぐものづくり」と題したブナセンター講座が同施設で開かれ、町内外から29名が参加しました。講師に美術・工芸を専門とする県立博物館専門学芸員の小林めぐみ氏を迎え、県内の工芸や漆掻き(ウルシの樹液採取)についての紹介を中心に、工芸を通じた自然と人との関わりについて講演されました。自然の恵みを活かしながら、冬の間に手仕事をする只見地域の伝統的な生活・文化の重要性や同施設で開催中の企画展「只見の手工芸」についても解説され、参加者は伝統工芸や自然の大切さについて理解を深めていました。



▲工芸を通じた自然と人との関係を説明する小林学芸員

只見高校生が町内企業の技術と魅力に触れる 誘致企業などで「就職相談会」開催

7月27日、町内誘致企業4社(株)会津工場、(株)ヒロタテクノ、(株)スミタフォトニクス、(株)リード)と町が連携して行う「只見町就職相談会」が開かれ、就職希望や将来の進路について考える只見高校3年生5名が参加しました。この相談会は、地元高校生に町内企業の技術や魅力などを発信し、町内就職希望者を増やしていくことを目的に行われているもので、町内誘致企業4社と役場を見学しました。各企業を訪問して行われた相談会では、会社説明や工場見学などが行われ、生徒たちはその企業の魅力などに触れていました。相談会に参加した生徒たちからは「町内企業の高い技術を知ることができてよかった」「製造業の魅力を知り、興味を持つことができた」などの声が聞かれました。



▲(株)ヒロタテクノの製造工場を見学する生徒の皆さん

八十里越が結ぶ新潟の児童との絆 町内3小学校合同で「宿泊学習」を実施



▲手作りの名刺を交換する児童

6月29～30日にかけて、只見・朝日・明和の3小学校合同による宿泊学習が行われました。これは、只見町が推進する「海洋教育」の一環で行われたもので、各小学校の5年生28名が参加しました。

宿泊学習は、八十里越の工事区間の見学や新潟県三条市の下田地区の小学校との交流、新潟県少年自然の家での釣りやカヌーといった内容で実施されました。三条市の森町小学校で開かれた交流会では、同市下田地区5校の児童70名と一緒に、それぞれの地域の紹介や手作りの名刺交換、レクリエーションなどを行い、両市町を結ぶ八十里越が児童の交流を深めました。

只見町観光まちづくり協会の酒井治子さんが 県のコーディネーターに委嘱

7月30日、福島県から只見線地域コーディネーターに委嘱された(一社)只見町観光まちづくり協会の酒井治子さんが役場を訪れ、橋本副町長に委嘱の報告をしました。

このコーディネーターは、JR只見線の利活用促進に取り組む沿線地域住民と連携を図り、企画列車や体験ツアーの際に地元との調整などを行います。また、只見線ガイドブックを制作し観光資源の活用などに取り組みます。

報告に訪れた酒井さんは「只見線の利活用に向けて応援してほしい」と話しました。



▲副町長(中右)に報告した酒井さん(中左)と同席した目黒長一郎会長(右)と渡部理一事務局長(左)

国道252号六十里越雪わり街道 清掃ボランティアで景観守る

7月19日、只見町と新潟県魚沼市の「国道252号六十里越雪わり街道を愛する会」が主催する清掃ボランティア活動が同街道で行われました。

これは、同街道の景観を守るために毎年行っているもので、参加者約90名は道路沿いに捨てられた弁当の容器やたばこの吸い殻などを回収しました。清掃後、アイヨシの滝で開かれた交流会では、冷汁やおにぎりが振る舞われ、参加者同士懇親を深めていました。



▲清掃ボランティアに参加した只見町・魚沼市の皆さん

プールの事故から子どもを守る 「応急手当講習会」を開催

7月10日、南会津広域消防署只見出張所の職員を講師に「応急手当講習会」が只見振興センターで開催され、町内の小中学校の保護者や教職員30名が参加しました。

この講習会は、プールで事故が発生した際に最善の応急処置が施せるよう毎年開催しているもので、当日は心臓マッサージ、人工呼吸、AEDの使い方などを学びました。受講者は、応急処置の基本などについて理解を深めました。



▲応急処置の基本について消防職員から指導を受ける参加者の皆さん

新体制での決意新たに 只見町文化協会の新役員就任!

7月27日、只見町文化協会の佐藤孝義副会長の案内で新しく役員となった齋藤修一会長と馬場永好事務局長が役場を訪れ、就任のあいさつを行いました。文化協会は芸術文化に関する事業を中心に活動をしており、今年の5月31日の総会で2年に1度の役員改選がありました。就任あいさつでは、齋藤修一新会長が「皆さまのご協力をお願いしたい」と話し、新体制での決意を新たにしました。



▲新国総務課長(中左)に挨拶をした文化協会の皆さん(左から佐藤副会長、齋藤会長、馬場事務局長)

お笑い芸人と町内児童が只見線などをPR 撮影でひよっこりはんさんが来町

只見線と奥会津の魅力を発信する県の事業「奥会津PR動画・ひよっこり只見線」の撮影が7月27日、JR只見駅付近で行われました。この動画は、よしもと芸人のひよっこりはんさんが只見線に乗りし、自身のネタを使って奥会津・只見線の魅力を紹介していくもので、撮影当日は町内の児童36名も一緒に参加しました。児童たちは緊張しながらも、一生懸命撮影に挑んでいました。



▲撮影でひよっこりはんさんと一緒に手を振る児童の皆さん